

わたしの
ハマライフ 「浜松は、気持ちを前向きに
してくれるまち」

～渡邊 恵理子 さん～

【アメリカ合衆国→浜松市中央区】



2023(令和5)年にアメリカ合衆国から中央区へ移住し、浜松での暮らし「ハマライフ」を送っている渡邊恵理子さんにお話を伺いました。

―浜松にUターンしたのですね

関西地方に興味があったて、高校卒業とともに兵庫へ引っ越しました。その後、仕事の都合などで大阪、東京、アメリカで生活しましたが、暮らしの環境は土地ごとにさまざままで良い経験になりました。
アメリカから日本に帰国することになり、日本での暮らしは浜松から始めよう決めました。

―なぜ、浜松を選んだのですか

実家があることはもちろんですが、自分の趣味を生かせるのが浜松でした。アメリカで覚えた陶芸を続けたいと思い全国を巡ったのですが、市内にとっても気に入った工房があったのが一番の決め手でした。

もう一つは気候の良さです。浜松は日照時間も長い！これまで暮らしてきた都市は、マイナス30℃の環境だったり雨ばかりだったり、振り返ると大変な経験でした。気候は生活にとっても大事な要素だと実感しています。浜松の暖かさは、気持ちを前向きにしてくれます。

―久しぶりの浜松。まちに変化は

これまで、人生の半分が浜松以外

での暮らしでした。高校生の頃は、浜松の魅力を実感できていませんでしたが、ここを離れてみて、浜松の良さがいっぱいあることに気付きました。何と言っても「人」。地域の皆さんがとても親身でやさしくて。遠州弁にいつも「ほっこり」しています。

以前と比べ、まちには移住者や外国人、イベントなども増え、さまざまなコミュニティがあらわらこちらで生まれています。人と人とのいろいろな「つながり」がとても温かく感じています。

―新たな発見もあったようですね

まちなかを歩いていたら、小さなかわいなお店がいっぱいあるんですね。他都市にはない個性的なお店がたくさんあって、まち歩きは週末の楽しみの一つになっています。

―イベントを企画・運営している と聞きました

久しぶりに浜松へ戻ったので、友達や知り合いを一から作る必要がありました。気軽に交流できるイベントがあればいいなと思い、市の移住コーディネーターやまちなかの店舗など多くの皆さんに助けていただきながら交流イベントを行っています。移住者や地域の人たちなどいろいろな人たちと出会う機会も増えました。



早朝の馬込川(渡邊さん撮影)

今後も、自分ができる範囲で、移住者と地域の人たちが気軽に交流できる場所を提供していきたいと思っています。

―お気に入りの場所は

馬込川の風景が好きです。仕事はフルリモートでパソコンに一日中向かう仕事なので、運動不足解消のため、毎朝、馬込川沿いを歩くようになりました。静けさの中にいろいろな音が聞こえてきたり、季節の移り変わりを感じたりしながら、ジョギングや散歩など行き交う人たちと何気ないあいさつを交わすのもちょっとした楽しみです。

―移住を考えている人へメッセージをお願いします

移住する場所を決めるとき、自分には何があると幸せなのか考えさせられました。浜松には、気候の良さ、人の優しさ、素晴らしいロケーションなど人を幸せにする要素が全てそろっているのです。移住先としてお勧めですよ。

※「わたしのハマライフ」のこれまでのインタビュー風景を動画で視聴できます。

詳しくはYouTube「ハマライフチャンネル」をご覧ください

市HP

ハマライフチャンネル

検索



※「わたしのハマライフ」は隔月で掲載します